

非核平和をすすめる下野市の会から市民の皆様へ 会長 服部辰一

2010年、日本人の悲願である核兵器をなくす運動は大きく前進しました。私たち下野市の会も核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて署名運動を行い、7月には、非核の政府を求める栃木の会に協力して下野新聞に意見広告を出し(8月6日掲載)、7~8月には原爆と人間展を開催しました。本市も加入している平和市長会では核兵器廃絶の世界世論の前進を歓迎しつつ、この^①碑で、核廃絶を実現するようにアピールしています。 10月5日(金)には非核の政府を求める栃木県民の会と共に広瀬市長と懇談して、周辺市町村が行っている非核平和のための施策を本市でも実施するように要望しました。

2011年の新年にあたり、非核平和都市宣言の下野市からの平和の発信を行い2020年までの核兵器廃絶を目指しましょう。

NPT再検討会議で一歩前進
昨年5月、国連で開かれた会議で、核兵器のない世界を達成することで合意し、核廃絶を法的枠組みで追及することを確認し、中近東非核化のための検討会議を2012年に開催することを決めました。しかし、核廃絶の工程表の作成は米英仏の反対でできませんでした。十分な成果ではありませんが、核廃絶の世界の流れは核保有国を含め確認されました。

表は「日本の運動を評価し、核兵器廃絶とともに勝ち取ろう」とあいさつしました。

長崎平和式典で田上市長は憲法の不戦と平和の理念を国際社会に広げ、非核3原則を法制化することを政府に求めました。平和市長会代表やデスコト国連総会議長も出席しました。

国連総会での核軍縮や核廃絶交渉の開始決議
非同盟諸国提案のこれらの決議への核所有国の反対は一昨年からは減ってきていますが、米国の未臨界核実験やNATOの核兵器保持を謳う新戦略概念などの逆流もあり、核兵器廃絶のための世論と運動の高揚が引き続き求められています。

2011年は、核兵器廃絶運動を大きく前進させていきましょう

第5回下野市教育のつどいを開催します

下野市の教育・文化・スポーツの振興を図るため、教育のつどいを開催します。教育関係者はもとより市民の参加を多数お待ちしております。入場無料ですので、お誘いあわせのうえ、ご来場ください。

- 日時 1月22日(土) 午前9時30分開会
- 場所 下野市南河内公民館 大ホール
- 問い合わせ先 教育総務課 ☎52-1117
- 内容
 - ▼下野市教育委員会表彰 (優秀優良者・善行篤行者・優秀優良教員)
 - ▼記念講演 NPO法人世界遺産アカデミー認定講師 トラベル・カウンセラー制度推進協議会認定 「世界遺産スペシャリスト」 林 美智代さん(下野市石橋出身)

市内小・中学校の適正規模や配置等を検討しています

10月9日(金)、石橋庁舎において第3回学校適正配置検討委員会が開催されました。

今回は、前回の会議で出された学校適正規模等の具体的方策案の他に、さらに中間的な案が提出され、その説明がありました。

また、児童、生徒の生命に直結する「通学路の安全確保」の観点に対する討議が行われ、各委員からは、様々な視点に基づいた活発な意見が出されました。

今回は1月10日(火)午後6時から石橋庁舎において人口の推移を考慮した「学校の適正規模」についての検討を行う予定です。前回までの検討委員会の内容等は市のホームページでも掲載していますので、ご覧ください。

●問い合わせ先 教育総務課 ☎(52)11117